

一般質問(3)



児童生徒の最善の利益を優先し 教職員の見解を反映した学校を

安齊 慎一郎(共産)

次期教育計画案について 校長を中心とした自治的な学校経営」とあるが、児童生徒の最善の利益を優先させた教職員の意見を反映した民主的な学校経営ではないのか。

憲法と地方自治法を生かす市政に 市民と共に地球温暖化対策推進を

倉根 康雄(共産)

市長と日本共産党はさきの市長選挙で政策協定を締結し、憲法と地方自治法を市政に生かす、内心の自由を尊重し日丸・君が代の強制は行わないことを確約した。

環境にやさしいまちづくりを！ 電子公文書館を設置せよ！

山崎 英昭(民主・社)

市民や事業者に対して、新たに創設される再生可能エネルギー導入助成制度の積極的な普及を促す。



坂口市長の二期目スタートにあたって決意を問う

相馬 和弘(民主・社)

坂口市長は再選を果たし、今定例会で合併の総仕上げ、総合計画の着実な前進に全力で取り組む決意が示された。

田無4号踏切拡幅工事について 青少年の居場所づくりについて

森 信一(民主・社)

田無4号踏切(五軒家通り踏切)拡幅工事の今後のスケジュールを問う。

公共施設を有効活用し、保育事業の充実、待機者ゼロを目指せ！

一木 孝之(民主・社)

不況で家計が圧迫され、就労を求める母親が急増しているのと同じく、みどり・田無・西原保育園の計画的建て替えを終え、3月末で廃止となるが、保育所として延長利用するなど緊急施設を臨時に活用した緊急対策を考へないか。

健康都市宣言の提唱！ 健康・保健医療のさらなる充実を

桐山 ひとみ(民主・社)

市長が掲げた健康都市宣言の具体的な内容は、市民の健康や人と自然が共生する都市環境など、総合的に取り入れたものにしたい。

西京市が直面している 危機への対応について

堀内 伸光(民主・社)

市長は施政方針で3つの危機に直面していると述べた。その一つ、直下型地震を想定した防災訓練への基本的な考え方を問う。

レジ袋削減、ごみ袋への広告掲載 高齢者への「ごみ袋の無料配布を！

佐藤 公男(公明)

市はレジ袋削減に向けた具体的な施策はあるのか、削減効果を正しく伝え、市と市民、事業者が一体で取り組む必要がある。



西京市の有料ごみ袋

寝たきり高齢者おむつ給付事業に 現金給付を併用せよ！

中田 惠美子(公明)

寝たきり高齢者に対するおむつ給付事業は、当市においては現物支給だが、おむつの持ち込みを認めない病児がある。

中学校3年生まで 医療費無料の推進を！

小嶋 勝己(公明)

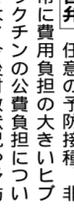
中学校3年生までの医療費無料を推進せよ。認定保育所、保育室等の利用料軽減を図れ。



コンビニ、自宅 携帯ですべての 税が23年度から支払い可能に！

若越 筆子(公明)

コンビニで住民票の交付ができるように！



坂口市政が信任されたと言いたい 市長選の結果を厳粛に受け止めよ！

佐々木 順一(公明)

市長は再選されたが、約1万5千票の得票減、全有権者の16・67%しか得票できなかった。

危機管理体制も含めて、現状の取り組み状況について問う。

文化芸術振興条例の早期制定を求める。

平面的な駐輪場に比べ、コストが大きくなる。

現在2年に1度の奇数年の検診を、毎年受診できるように検診の機会を増やすべきではないか。

利用者が希望する時間帯にそれぞれの目的地まで移動できるため、障害者や高齢者の外出がしやすくなるという利点がある。

新たなにつくられる都市計画道路と既存の路線型商店街の間の、歩行者ネットワークで回遊性を増し、にぎわいを生み出したい。

総務省が提唱している子ども農山漁村交流プロジェクトの取り組みを、教育長 国や都の動向を踏まえて、研究したい。